

『暑い日は作業計画の見直しを！』

～ 熱中症は、朝方も注意が必要 ～

埼玉労働局労働基準部健康安全課

埼玉労働局（局長 田畑一雄）は、平成 28 年の県内の職場での熱中症による死傷災害発生状況をまとめました（裏面の「資料」参照）。

以下のとおり、職場での熱中症による死亡者数は昨年より 1 人から 0 人となり、休業 4 日以上の死傷者数は前年の 36 人から 12 人と大きく減少しました。

1 熱中症の発生状況

職場での熱中症による死亡者は、0 人（平成 27 年 1 人）となりました。また、休業 4 日以上の死傷者数は 12 人（平成 27 年 36 人）と大きく減少しました。

休業 4 日以上の死傷者数の発生状況は、次のとおりです。

- (1) 発生月で見ると、7 月から 9 月の間に発生しています。平成 27 年は梅雨明け後の 7 月に最も多く発生しており、この傾向は平成 28 年においても同様です。
- (2) 発生時間で見ると、午前 9 時台（3 人）、午後 2 時台（2 人）、午後 5 時台（2 人）が多くなっています。一日を通してみると午前 9 時台から午前 10 時台の朝方及び午後 5 時台から 7 時台の夕方に多く発生しています。
- (3) 年代別で見ると、40 代が 5 名、50 代が 3 名と多くなっていますが、20 代 2 名、30 代 1 名と 30 代以前の労働者も全体の 1 / 4 を占めています。

2 熱中症の予防について

厚生労働省では、職場における熱中症死亡ゼロを目指して、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」（キャンペーン期間 5 月 1 日～9 月 30 日）を展開し、重点的な取組を進めています。

（重点取組事項）

- ・ 暑さ指数 (WBGT 値) の把握 (JIS に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう)
- ・ 作業時間の短縮 (暑さ指数が高いときは、作業の中止やこまめな休憩などの工夫を)
- ・ 水分・塩分の摂取 (のどが渇いていなくても定期的に水分・塩分を取りましょう)
- ・ 健康診断結果に基づく措置 (糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全、精神・神経関係の疾患、広範囲の皮膚疾患、感冒、下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう)

3 埼玉労働局の対応

熱中症の予防対策について、① 関係事業者団体への要請、② パンフレットの配布、③ ホームページへの掲載等により、広く周知を図っています。

1 職場での熱中症による死亡災害件数の推移(平成20年～平成28年：人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国	17	8	47	18	21	30	12	29	12
埼玉	0	0	4	2	1	1	0	1	0

2 埼玉県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況(平成27、28年：人)

① 死亡・休業別災害発生状況

発生件数	死亡	休業	合計
H27	1	35	36
H28	0	12	12

② 業種別発生状況

業種	製造業	建設業	運送業	警備業	その他	合計
H27	10	8(1)	3	3	12	36(1)
H28	5	1	3	0	3	12

※()内は死亡者の内数(以下同じ)

③ 発生月別発生状況

被災月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
H27	2	0	19(1)	14	1	36(1)
H28	0	0	6	5	1	12

④ 被災時間別発生状況

被災時間	午前					午後							合計
	8時	9時	10時	11時	12時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	
H27	1	0	2	6	4	4	3	3	2(1)	7	3	1	36(1)
H28	0	3	1	0	0	1	2	0	1	2	1	1	12

⑤ 被災者年齢別発生状況

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60～	合計	30歳代までの比率
H27	1	7	9	6	5(1)	8	36(1)	47%
H28	0	2	1	5	3	1	12	25%

※ 全国の死亡災害は厚生労働省発表数、県内の死傷災害は労働者死傷病報告調べ